

第6次すいた男女共同参画プラン(素案)に対する意見(第1回審議会意見)

資料1

No.	該当箇所		意見	事務局の検討結果
◆計画の名称について				
1	表紙	－	「ジェンダー平等社会の実現に向けて」が上に書かれていて文字も大きい、「第6次すいた男女共同参画プラン」が正式名称であれば、逆のほうが適切ではないか。背表紙はどう表記するのか。	目指すものをわかりやすく表示しており、本市の他の計画でも同様の事例があります。背表紙についてはスペースの関係もありますが、表紙と同様に表示したいと考えています。
2	表紙	－	「ジェンダー平等社会の実現に向けて」を第6次プランのメインフォーカスとするならば、次期プラン以降は社会情勢にあわせて計画ごとに重点が移動していくのか。	男女共同参画プランが目指すもの自体が「ジェンダー平等社会の実現」であると考えており、第6次プランだけの重点（重点が移動していく）との考えではありません。
◆第1章 計画の基本的な考え方				
3	2 計画がめざすまち	P2	基本理念に「男女の人権の尊重」とあるが、LGBTQの人たちが含まれないように感じるので表現の工夫が必要ではないか。	吹田市男女共同参画推進条例に定める基本理念であるため、「男女」の表現はこのままとします。
4	4 計画の期間	P2	第5次プランの計画期間が3年間で、第6次プランの計画期間が5年間である理由をP2の「計画の期間」又はP3の背景に記載した方がよい。	本来であれば第5次プランで計画期間を3年間とする理由を記載すべきでした。第6次プランで第5次プランの計画期間を記載することは考えていません。
◆第2章 計画の策定にあたって				
5	2 世界・国・大阪府の動向 (2) 国の動向	P4	男女共同参画社会基本法以降から記載されているが、重要な法律である男女雇用機会均等法を入れなくてよいか。	追加しました。
6		P5	「多様な性に関する理解の促進」を基本方向3・基本施策1に移行したことを踏まえ、LGBT理解増進法を追加する方がよい。	追加しました。
7	3 吹田市の状況	P7	「高齢化率は23.7%」のところで、「全国平均の〇〇%より低いものの」と全国平均値を入れると吹田市の状況がよくわかる。	追記しました。
8	4 第5次計画の達成状況	P13～15	C評価の指標について、達成できなかった要因をわかる範囲で記載した方がよい。	C評価のうち、プラン策定時より状況が悪化したものについて、考えられる要因を記載しました。
◆第3章 施策の内容				
9	1 施策の体系図	P21	重点施策は、P13からP15の「第5次計画の達成状況」の評価との関連性はないのか。	C評価であっても策定時より改善しているものもあり、P13からP15の評価のみで重点施策を決定したものではありません。
10	2 現状と課題、主な取組	P24	第5次プランでは「職場における性別による差」のグラフが9項目あり、男性が優遇されているものだけではなく、「育児・介護休暇など休暇の取得のしやすさ」など女性が優遇されているものも掲載されているが、第6次プランでは省かれている。男性の育児休業の取得率が上がってきていると聞くので、その辺も皆さんが知りたいところではないか。	P11「(2) 男女共同参画に関する市民意識」に意識調査を掲載しているホームページのQRコードを掲載することにより、市民意識調査結果の情報を補足しました。
11		P24	P24の図1、P54の図1、図3は男女別のグラフを足した方がよい。	

No.	該当箇所		意見	事務局の検討結果	
12	2 現状と課題、 主な取組	P30	「男性市職員の育児休業取得率」の指標は、「1月以上」「1月未満」など、取得日数別に定めると目標が明確になるのではないかと。	「育児休業を取得した男性市職員のうち、1か月以上取得した人の割合」を追加しました。	
13		P33	「女性会長の割合」という表現を「〇〇会長における女性割合」に修正した方がよい。	修正しました。	
14		P33	現状と課題の文章が、何が課題でどう解決していきたいかがよくわからない。	文章を修正しました。	
15		P39	「市民のみなさんも取り組んでみませんか」の「どんな場所で暴力やハラスメントが起こるのか事例を見る」を、「どんな状況で～」に修正した方がよい。	修正しました。	
16		P39	「市民のみなさんも取り組んでみませんか」は自分にも関係があると思ってもらう呼びかけが必要。ハラスメントやDVは周囲の人がどう行動するかが重要なので、自分の行動を振り返ったり、自分の周りで起こっていないかなど、第3者にフォーカスを当てたものを追加した方がよい。	追加しました。	
17		P39	子供の世界では、実社会でのハラスメントよりスマートフォンの中で行われるハラスメントが深刻になっている。ハラスメントや性暴力につながっていくため、低年齢の子供に対して市としてどのように取り組むのかを盛り込む方がよい。	P38「暴力の根絶のための意識啓発と環境整備」やP57「生涯にわたる男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進」に取組を記載しています。	
18		P48	基本施策3はジェンダー平等との関連性が理解しにくい。ジェンダーや性別に関わる障がい者や高齢者の問題にフォーカスしてジェンダー問題とどう関わるのかを明確にした方がよい。	P48・P49の各「取組の具体的内容」の説明に「女性であることにより、更に複合的に困難な状況に置かれている場合があることに留意し」を追記し、意図を明確にしました。	
19		P48 P49	基本施策3の主な取組1、3、4が唐突な印象がある。取組にジェンダー問題とのクロスが見えない。		
20		P46	「市民のみなさんも取り組んでみませんか」は自分にも関係があると思ってもらう呼びかけが必要。ハラスメントやDVは周囲の人がどう行動するかが重要なので、自分の行動を振り返ったり、自分の周りで起こっていないかなど、第3者にフォーカスを当てたものを追加した方がよい。	追加しました。	
21		P56	(図4)は日本の数値だけではなく、G7の平均など他国の数値と日本のスコアをグラフにすると視覚的にわかりやすくなる。例えばアフリカと比較すると危機感を感じる人が多い。	G7と比較したスコアを追加しました。	
◆その他(全体に対する意見など)					
22	—	—	「第5次計画」と「第5次プラン」が混在している。「第5次プラン」に統一する方がわかりやすい。	「第5次プラン」に統一しました。(他も同様に「第〇次プラン」に修正)	
23	—	—	施策に関わる事例をコラムの形で掲載してはどうか。	可能な限りコラムを掲載できるよう検討します。	